

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	茨木・大成化工(株)秦野工場	階数	地上4F
建設地	神奈川県秦野市堀山下字荒井ヶ谷戸320番3,320番4	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
気候区分		年間使用時間	7,152時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月 予定	評価の実施日	2012年10月15日
敷地面積	10,517 m ²	作成者	岐建設事務所
建築面積	2,334 m ²	確認日	2012年10月15日
延床面積	8,667 m ²	確認者	岐建設事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

項目	スコア
Q1 室内環境	0.0
Q2 サービス性能	3.5
Q3 室外環境 (敷地内)	2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

項目	スコア
LR1 エネルギー	3.8
LR2 資源・マテリアル	3.4
LR3 敷地外環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 作業スペースの機能性・快適性及び、近隣の配慮を高い水準で確保できる建物。法令を遵守し、竣工後の変化に対応できる建物。トータルコストの低減。		0
Q1 室内環境 (対象外)	Q2 サービス性能 階高H=5Mとし空間の自由度を確保。前室、部品倉庫等を広くとり、資材の動線と収納性を確保。作業室仕上げ材は、防汚性の高いクリーンルームパネルとR巾木を採用。クリーンルームパネルは、間仕切りの変更、天井裏設備、電気の変更・更新を容易にする。	Q3 室外環境 (敷地内) 現在敷地内にある、植栽を極力残す。緑地による地表面温度上昇の抑制。建物、外構を「ふるさと秦野市生活美観計画」の基準にあった色彩計画とする。
LR1 エネルギー 高効率の設備システムを採用。節水型の便器を採用。局所式の給湯設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 仕上材の中心に工場加工製品 (ALC、クレーンパネル) を使用し、廃材を削減。内装材は、クリーンルームパネルや軽鉄材を採用し、躯体からの着脱が容易。再生建築資材の導入 (駐車場の舗装材、路盤材)	LR3 敷地外環境 屋根からの雨水排水は、浸透枳を設置。浸透枳管を一部使用。騒音・振動の原因となる屋外設置機器を、敷地西側の住宅地から隔離。自転車置場の確保。駐車場の確保。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される